

沖縄県・福建省友好県省締結25周年!

沖縄県・福建省友好県省締結25周年記念式典

2022年、沖縄県と福建省は友好県省を締結して25周年の節目の年を迎えました。このことを記念し、11月25日、那覇市の福州園と福建省をオンラインで結び、沖縄県・福建省友好県省締結25周年記念式典を開催しました。

記念式典は、沖縄県では玉城知事、律桂軍(りつけいぐん)中国駐福岡総領事など約70名が出席し、福建省では、趙龍(ちょうりゅう)省長や郭寧寧(かくねいねい)副省長他、多くの来賓・関係者の出席の下、開催しました。

かぎやで風に始まり、来賓紹介、玉城知事や趙龍省長等の挨拶が行われました。また、友好県省締結25周年を記念して、双方の地酒(沖縄では「泡盛」、福建では「白酒」)の甕入れ式が行われた他、両県省による公費留学生の相互派遣に係る協議書の署名式が行われました。式典の最後には、沖縄県と福建省のエイサー団が共に「唐船ドーイ」の楽曲を演奏する、同時エイサー演奏が行われました。

この度の25周年記念式典において、沖縄県と福建省はこれまでの友好交流の歴史や意義を振り返り、将来に向かって交流促進、友好関係を一層深めていくことを確認しました。



式典でのエイサーの演奏



福建省式典会場の様子

沖縄県と福建省ってどんな歴史があるの?

中国の南東沿岸部に位置する福建省は、600年以上も昔から沖縄と交流がありました。当時の沖縄県は「琉球王国」として、中国を中心にアジア諸国との海外交易・交流を精力的に行い、発展を遂げました。

一方で琉球王国時代には、中国の皇帝の命を受けて福建省から琉球に渡り、久米村(現在的那覇市久米)に定住した「久米三十六姓」と呼ばれる職能集団が存在しました。このように、とりわけ地理的に近い琉球と福建省は古くからさかんに交流が行われていました。

友好県省締結の経緯

1992年、沖縄県は福建省と共同で、琉球の先人が歩いた「進貢の道」を辿る「中国大陸3,000キロ踏査行」を実施しました。この事業を機に、両県省において農業、水産業、建設業、商業貿易、文化・学術、衛生、環境等、各分野での交流を促進する気運が高まり、1994年に「第1回沖縄県・福建省サミット」がスタートし、2001年の第7回まで継続して開催されました。

これら幅広い分野における活発な交流を踏まえ、沖縄県と福建省は1997年9月に友好県省を締結しました。



式典での「甕入れ式」

問い合わせ

交流推進課 電話:098-866-2479 FAX:098-860-2960